

金業と
人権

シリーズ第3弾

「外国人労働者問題から多民族共生を考える」

企業が果たすべき社会的責任、それは『人権』『労働基準』『環境』

これまで、労働者の視点から捉えた作品が大半でした。
本作品は、従業員の2割が中国人という日本企業の明日の姿を
先取りしている大阪の中堅建設会社に密着取材。
研修・技能実習制度を利用した人材の育成・確保の実態をドキュメントしながら、
利潤追求というリアルな現実のなか、どう人権問題と真剣に向き合ってきたのか、
中国ロケを交えながら描きます。さらに、労働者は生活者であるという視点から、
その生の声や地域の支えにも触れていきます。 *ロケ地：中国（上海・江蘇省）・大阪・兵庫

企業と労働者の双方から描いたドキュメンタリー



中国の人材派遣会社社長

日本の事情を知らずに
送り出す中国側の現実を
変えていきたい

高学歴なのに、
結局3Kの仕事にしか
就けないのかなあと...



日本生まれのベトナム人

人材の育成と確保は死活問題。
技術の後継者も彼らが担うことになる...

現実に仕事をするなかで
差別を越えていくしかない



日本の建設会社営業部長



日本国籍のベトナム人

能力をキチンと評価してほしい。
4ヶ国語ができるのに...

時代は変わってきたけど、
面接では未だに「弁当にキムチ?」とか...



在日コリアン

文化や常識の違いを
乗り越えるのは言葉です



中国人留学生

日本企業に失望して10人に8人は帰国する。
苦勞して日本の大学を出たのに...



元・中国人研修生

機会があれば、もちろん、
また日本に行きたい

日本から帰った研修生たちは、
習得した高い技術を中国各地に広めている。
深謝!

腰を痛めたときの
日本人上司の献身的看病、
絶対に忘れない



元・中国人研修生

共に暮らす隣人として、
地域で支えたい



中国の派遣会社社員

文化や常識の違いを
乗り越えるのは言葉です



在日コリアン NPO代表



中国の大手建設会社社長

プロデューサー：北川修二 酒井邦一 田中幸夫
監督：田中幸夫 撮影：BALMA 編集：NON 録音：松井俊幸
企画・制作：株式会社フルーク 風楽創作事務所
協力：部落解放大阪府企業連合会 特定非営利活動法人トッカビ子ども会
2007 / 日本 / DV / カラー / ステレオ

2007年12月完成/32分作品 VHS・DVD(字幕 有・無) ライブラリー価格31,500円(税込)

■「企業と人権シリーズ」好評発売中■

シリーズ第1弾 部落地名総鑑事件30年企画 jun&keiの企業と人権

2006年1月制作 30分作品 ライブラリー価格21,000円(税込)

「個人情報」「男性・女性」「障害者」「外国人」「部落差別」それぞれのテーマについて考える入門編。まず人権漫才が視聴者の皆さんをエスコート。職場・地域での身近な事例をとりあげながら再現ドラマ・ドキュメンタリー・デジタル劇画など多彩な手法で描く導入用ビデオ。初任者の研修、ワークショップ等で活用されています。

シリーズ第2弾

構えない 隠さない 飾らない ～障害者雇用最前線～

2006年12月 36分作品 ライブラリー価格21,000円(税込)

特例子会社から地域の独立企業、街の洋菓子店、さらに就労訓練後の職域の広がり。自前の知恵と工夫で雇用に取り組む最新事例を徹底取材。決められたから守る、義務だからやるという消極姿勢とは無縁に、障害者の仕事への可能性を最大限に活かし、戦力化したその思いや効果、具体策を問ひかけます。



●お申し込み・お問い合わせは
有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

